

# 中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】GI-13

申請日	2015/1/18	承認日	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日	承認者	印

Nab-PTX+GEM	病名	膵臓癌	消化器内科	医師名	Dr
<b>対象</b>	局所進行切除不能または遠隔転移を有する膵臓癌の一次療法以降				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)																	
			1	5	8	10	15	20	25	30										
アブラキサン (ナブパクリタキセル)	125mg/m <sup>2</sup>	div	○		○			○												
ゲムシタビン	1000mg/m <sup>2</sup>	div	○		○			○												

投与間隔・休薬期間等: 28日=1コース

←————— 1コース —————→

【投与処方例(前投薬など)】

※ゲムシタビン投与中は温罨法を行う。

※アブラキサンは、フィルター使用不可なため、必ずY側管【水色】より投与

- ① メインルート【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液100mL+パロノセトロン1V+デキササート8mg /div 30分
- ③ Y側管【水色】生理食塩液100mL+アブラキサン /div 30分  
(アブラキサン1V当たり20mlで溶解。残りの生食は全て抜き取り、捨てる。空ボトルに溶解後のアブラキサンを必要量抜き取って入れる。)
- ④ メイン【赤-2】生理食塩液50mL /div 5分
- ⑤ メイン【赤-3】5%ブドウ糖液100mL+ゲムシタビン /div 30分

## ※ゲムシタビン

Ccr59mL/min 投与量は基本的に正常者と同じだが、ゲムシタビンの代謝物のクリアランスが低下するため慎重に投与する必要がある。

【提出論文】MPACT試験; Von Hoff DD et al : N Engl J Md 369 : 1691-1703 (2013)

アブラキサン添付文書

当院患者治療目的以外は  
使用不可